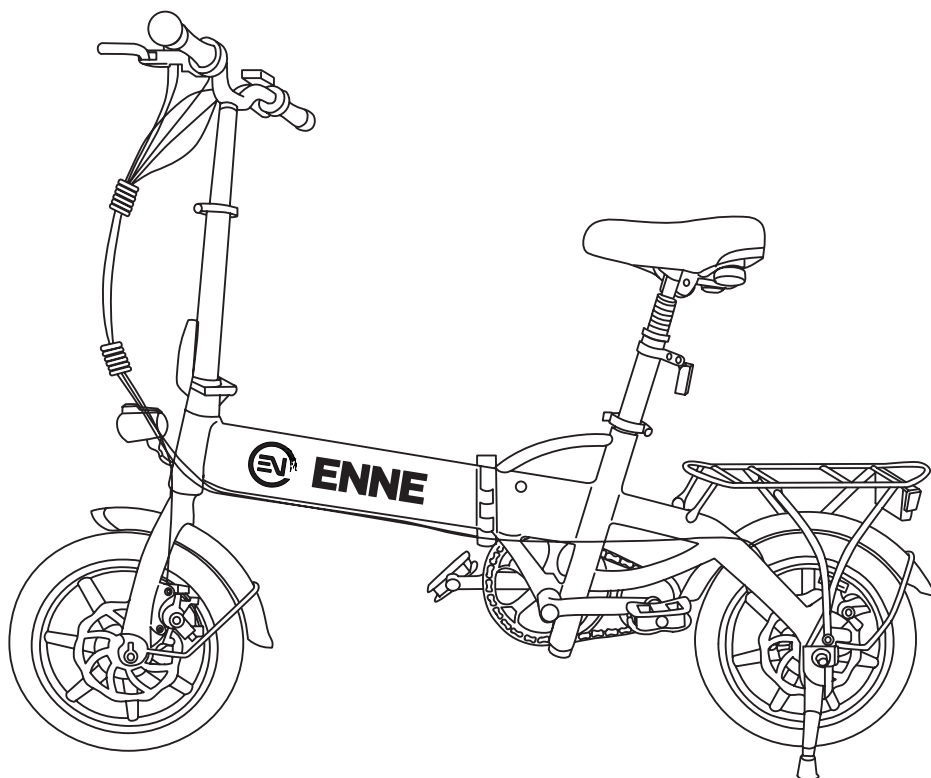


T250

取扱説明書

ご使用前には必ず取扱説明書をよく読んでください。



はじめに

ENNE T250 をご購入いただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書は、ご購入いただいた特定小型原動機付自転車の正しい取り扱い方法、安全な使用方法、基本的な保守方法について説明しています。ご使用に際しては、必ずこの説明書をよく読み、理解したうえで操作を行ってください。

※弊社では、製品の性能向上や法的規制の変更、お客様へのより良いサービス提供を目的として、製品の仕様や取り扱い方法を向上させるために、取扱説明書の内容を変更する場合がございます。

取扱説明書の変更は、製品の安全性、効率性、および耐久性を向上させることを目的として行われ、お客様が製品を安全にお使いいただくための重要な情報を提供することを意図しています。取扱説明書の注意事項を守り、正しくご使用いただくことで、安全性と耐久性に優れた特定小型原動機付自転車のご利用をお楽しみいただけます。



当製品は 2023 年 7 月 1 日から解禁された「特定小型原動機付自転車」という新しいカテゴリーの商品です。16 歳以上であれば免許不要で運転でき、ナンバープレートの取付、自動車損害賠償責任保険（共済）の加入を義務づけられています。ヘルメットの着用は努力義務、交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要ですので、乗車用ヘルメットを着用しましょう。

Table of Contents

目次

01. 安全のために	4
02. 製品・付属品	6
03. 各部の名称	7
04. 初回運転前に	8
05. 操作方法	11
06. 運転前点検	22
07. 運転	25
08. 車両の折り畳み・組み立て	29
09. 点検・整備	33
10. 故障かな?と思ったら	36
11. お問い合わせ	37





安全のために

安全にご利用いただくために

こちらには、特に注意が必要な事項や重要な情報が記載されています。以下の内容をよくお読みいただき、安全運転にご協力ください。

- ENNE T250 は原動機付自転車の一類型である「特定小型原動機付自転車」と位置付けられており、運転免許は不要です。
- ナンバープレートの登録・取付が必要です。
- 自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）へ加入が必要です。
- 運転者の年齢は 16 歳以上であるが必要です。
- ヘルメットの着用は努力義務です。

*交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要ですので、乗車用ヘルメットを着用しましょう。
*ヘルメットは、頭のサイズに合った正しいサイズを選んで、しっかりと装着してください。
*安全基準を満たしている二輪車用ヘルメットをお選びください。SG マーク、PSC マーク、または JIS マークのついたヘルメットを着用することをお勧めします。これらのマークがついたヘルメットは、安全性が確保されており、安心してご使用いただけます。

- 運転する際は、安全な服装を着用してください。

*運転時は、体を十分に覆う長袖と長ズボンを着用してください。
*安全性を高め、怪我のリスクを減らすために、肩、肘、膝などにプロテクターを装着することをお勧めします。
*チェーンやタイヤに巻き込まれる危険を避けるため、広がった裾のズボンや長いスカート、長いマフラーなどを着用しないようお願いいたします。
*ブレーキランプ、ナンバープレートが常に見えるように、特にコートなど丈の長い衣服を着用する際には、これらの部分が隠れないように気をつけてください。安全のために、これらの装置が他の人々にも確認できるようにしてください。
*サンダルや滑りやすい靴は、足がペダルから滑り落ちて転倒する危険があるため、使用を避けてください。安全のために適切な靴を着用してください。



警告

- チェーンへの巻き込みを防ぐため、裾の広いズボン、長いスカート等は着用しないでください。
- 長いマフラーは、車輪やチェーンに巻き込まれてしまう可能性があるため、着用しないでください。
- ブレーキランプ、ウィンカー、ナンバープレートは、常に見える状態にする必要があります。コート等丈の長い衣服を着用する際は、衣服がブレーキランプ、ウィンカー、ナンバープレートを隠さないように注意してください。
- ヒールなどかかとの高い靴を着用しないでください。
- サンダルやすべりやすい靴は、足がペダルからはずれ、転倒するおそれがありますので着用しないでください。



安全のために

運転する際は以下を順守してください

- 特定小型原動機付自転車を運転する際には、道路交通法の規則と交通マナーを守って安全な走行を心掛けてください
- ENNE T250 には6km/hモードと20km/hモードの2モードございます。6km/hモードで歩道を走る際には、特例特定小型原動機付自転車の交通ルールに従い、安全な走行を心掛けてください。
- ENNE T250 は一人用を想定して設計しております。2人乗りは危険ですので、おやめください。
- 最大荷重を超えた使用は車体故障の原因となりますので、おやめください。
- 競走や、路面が荒れている、段差や凹凸のある場所、障害物の多い場所などでの運転や危険な使い方は避けてください。安全を最優先にお願いいたします。
- 片手運転は危険ですので、おやめください。
- 運転中は、携帯電話やスマートフォンなどの操作は絶対にやめてください。
- 傘をさしながらの運転は絶対に避けてください。
- 両足は確実にペダルに乗せて運転してください。
- 急発進や急ブレーキ、急なハンドルなどの操作は危険ですのでおやめください。
- 歩行者の安全を最優先にし、周囲の人々とともに配慮のある運転を心掛けてください。の安全な距離を守るように気をつけ、安全な運転環境を前向きに努力してください。

雨時の使用に関して

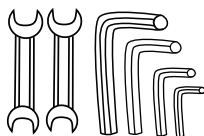
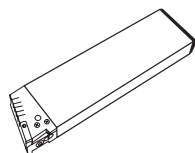
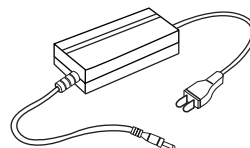
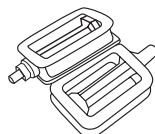
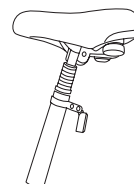
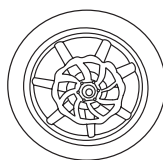
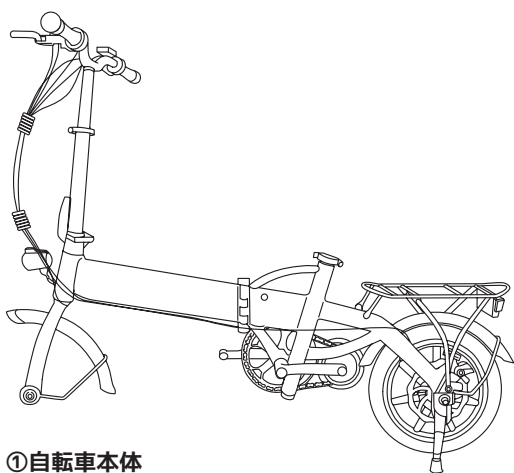
- ENNE T250 は完全防水ではありません、雨天時の使用は故障に繋がる可能性がございますので、ご注意ください。
- 雨天時は路面が滑りやすいので、水たまりや滑りやすい路面に注意しながら走行してください。
- 雨天時は制動距離が伸びるため、前方の車両や障害物との安全な距離を確保して走行してください。

転倒事故を防ぐために、以下の点に注意してください

- 激しい雨、風、雪の天候下では運転を避けてください。路面が滑りやすくなり、ブレーキが効かなくなったり、スリップして転倒する危険性が高まります。自身の安全を最優先に考え、危険な状況では運転を控えてください。
- 路面が滑りやすい状況(濡れた路面や凍結した道路、水たまりや積雪など)では運転を控えてください。スリップの危険性が高まり、転倒してしまう可能性があります。自身と他の人々の安全を守るために、滑りやすい路面では運転を避けてください。
- 路面が荒れていたり段差が激しい場所では、運転を避けてください。安全運転は自身の安全だけでなく、他の人々の安全も確保するための大切な行動です。路面の状態が良くない場合、他の安全なルートを選ぶか、必要な場合は車を停めて安全を確保してから進むようにしてください。

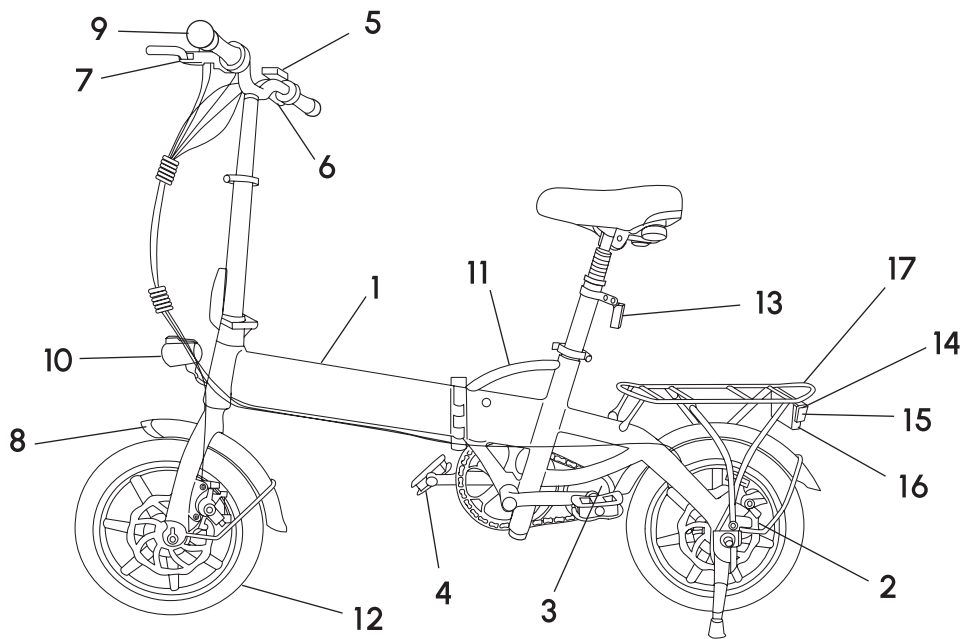
製品・付属品

製品がお手元に到着した際に、以下の内容が正確であることをご確認ください。もし何か問題があれば、お手数ですが弊社及び販売代理店にお知らせください。





各部の名称



1. バッテリー(内蔵)
2. モーター
3. 発電機
4. ペダル
5. コントロールメーター
6. アクセル
7. ブレーキレバー
8. 泥除け
9. ウィンカー+最高速度表示灯
10. ヘッドライト+警音器
11. キャリーハンドル
12. e-bike 専用タイヤ
13. 後部反射器
14. テールランプ
15. ブレーキランプ
16. ナンバープレートベース
17. リアキャリア

初回運転前に

当製品は特定小型原動機付自転車です。

運転をする際には、事前にナンバーの登録と取り付け、自賠責保険の加入が必要です。

また、運転時にはヘルメット着用は努力義務で運転免許証は不要です。

車両を安全に運転するために、以下の内容を必ず行ってください。

ナンバープレートの登録

ナンバープレートの登録は各自治体の窓口で登録手続きをしてください。



ENNE T250は特定小型原動機付自転車です。ナンバープレートを取得しないと運転出来ませんので、ご注意ください。

自賠責保険への加入

自賠責保険への加入は法律で義務付けられていますので、加入手続きを行うことは必須です。加入の申し込みは、販売店、自賠責保険取扱店、またはコンビニエンスストアなどで行えます。手続きを忘れずに行ってください。

ヘルメットを用意

運転する際はヘルメットの着用は努力義務ですが、交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが重要ですので、乗車用ヘルメットを着用しましょう。

運転免許証を携帯

特定小型原動機付自転車は運転免許証なしで運転可能です。

年齢制限

特定小型原動機付自転車を運転するのに運転免許は不要ですが、16歳未満の者が運転することは禁止されています。

また、16歳未満の者に特定小型原動機付自転車を提供する（貸す、買い与える、譲渡する等）ことも禁止されています。

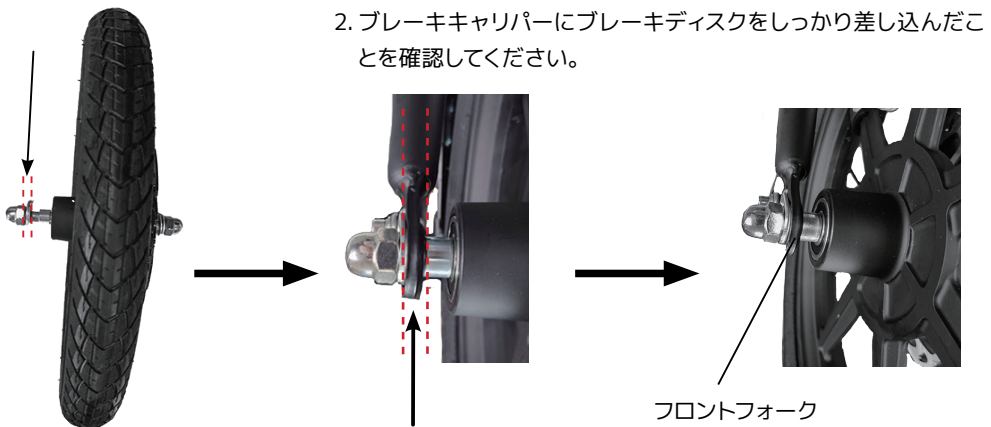
⚙️ 初回運転前に

前輪の取付

前輪は外した状態で郵送されます。専用工具で取付してください。
フロントフォークの内側にスペーサー1個、外側にワッシャー、固定用ワッシャ、固定用ナット、3個の部品がくるように装着してください。



1. 上記写真の順番に従ってタイヤ取付軸の所定位置にフロントを装着してください。装着後の位置確認は下記写真をご参照ください。



⚠️ 注意

タイヤの片側にディスクブレーキがあるため、左右の幅が異なるので、取付時にご注意ください。

3. 前輪軸の固定フックをフロントフォークの穴部分に掛けてください。



4. 最後、両側の固定用ナットをしっかりと締めてください。

⚠️ 注意

固定用ナットの緩みが事故に繋がりますので、必ず強く締めてください。

※前輪の取付に自信がない方は自転車修理店や組立経験者に依頼してください。

初回運転前に

バッテリーの起動

車両がお手元に届いた際、バッテリーは休止状態になっています。そのままではご利用いただけませんので、車両を初めて使う前にバッテリーを起動する必要があります。バッテリーを活性化させるために、最初に充電器に接続して充電をしてください。

- バッテリーは未装着の状態でお届けしておりますので、初回充電は、本体に装着せず、必ずバッテリー単体で充電をしてください。



充電器

バッテリー

- 充電器の LED ランプが赤色に点灯すれば充電開始、緑色に切り替えたら充電完了です。
- 充電完了後、充電器を外し、本体に装着してください。

✂ 操作方法

コントロールパネル



⚠ 注意

走行中はコントロールパネルの操作を行わないでください。操作中は注意が散漫になり、事故のリスクが高まります。安全運転のために、走行中の操作は避けてください。

✂ 操作方法

バッテリー

ENNE T250 のバッテリーは、リチウムイオン電池を採用しています。

●バッテリーの取り扱いについて

バッテリーの取扱いは、火災や感電を防ぐため下記のことにご注意ください。

⚠ 警告 注意

バッテリーを当製品以外に使用しないでください。

- 専用のバッテリー以外は使用しないでください。
- バッテリーは、落下や破損を避け、火災の危険性があることを理解してください。
- バッテリーは滑りやすい材質でできていますので、十分に注意して取り扱ってください。
- バッテリーを落とさないでください。衝撃を与えないようにしてください。
- バッテリーに水をかけたり、水の中に入れてたりしないでください。故障の原因になります。
- バッテリーを分解しないでください。また、加工や改造を行わないでください。
- 分解・改造した場合、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- バッテリーを火気に近づけないでください。火事の恐れがございます。
- バッテリーの外装に破損や凹みがある場合は、使用しないでください。

初期不良の場合は速やかに弊社及び代理店にご連絡ください。

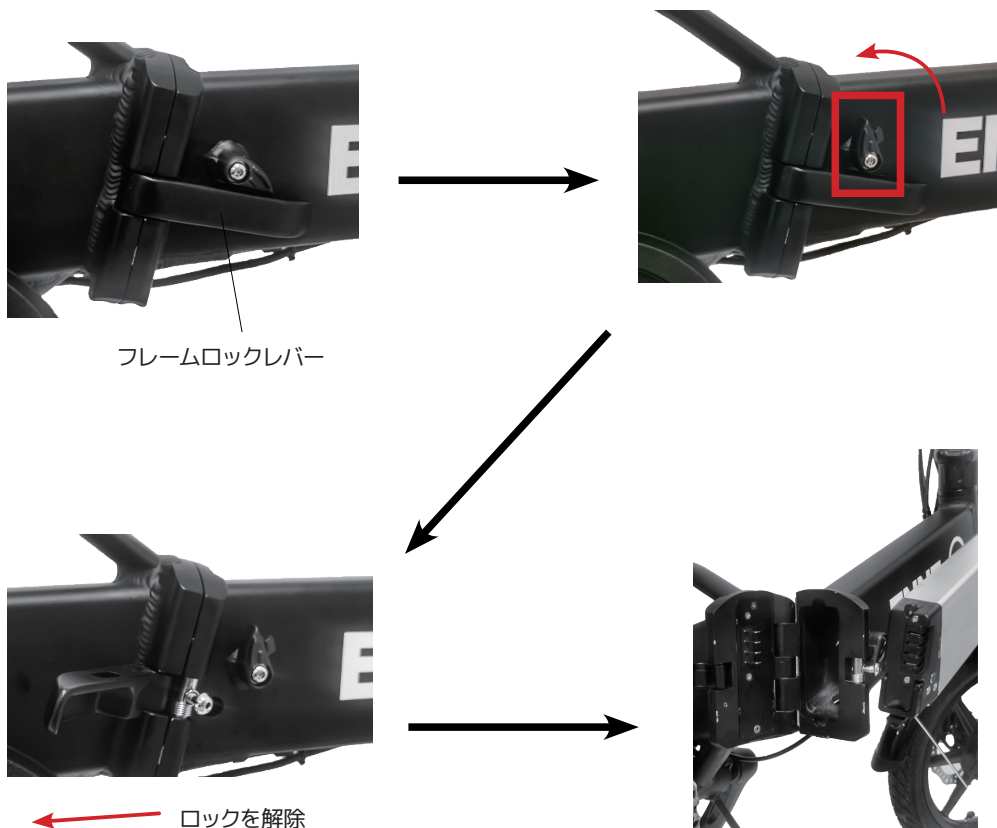
- バッテリーは、長期間車両本体に入れたまま放置すると、電圧が下がり、充電できなくなる可能性があります。また、車体から抜いた状態でも自然放電が起こります。バッテリーを車体から取り外して保管する場合は、最低でも1ヶ月に1度は充電を行うようにしてください。これによって、バッテリーの寿命を保ち、効果的に使用できるようになります。



✂ 操作方法

●バッテリーの取り外しについて

1. フレーム底部にあるバッテリーケーススロットに、バッテリーキーを挿入し、キーを回すことでロックを解除できます。
2. フレームロックを回してロック解除します。
3. フレームロックレバーを手前に引き、車台を折り曲げます。
4. 下記写真のようにバッテリーを取り出します。



⚠ 警告

バッテリー外装は滑りやすい材質です。バッテリーを車両から抜き取る際は、低い姿勢で行ってください。誤って高い位置からバッテリーが落下した場合に、破損・火災の恐れがあります。

操作方法

● バッテリーの取り付けについて

バッテリーの取り付けは、取り外しの逆手順で行ってください。

● バッテリーの充電（バッテリー単体充電の場合）

バッテリーへの充電は、バッテリーを車両から取り外し、付属の専用充電器を使用して、ご家庭の AC コンセント（100 ～ 240V）からできます。

警告

充電器の使用について、以下の点に十分気を付けてください

- ENNET250 専用のバッテリー以外には使用しないでください。
- 充電器は充電が完了したら自動的に停止しますが、安全のために充電終了後には AC コンセントからケーブルを抜いてください。
- 充電をする際は必ず目の届くところで行い、常に監視をしてください。
- 充電器から異臭や発煙がした場合、即座にコンセントから抜き、使用しないでください。
- バッテリーや充電器は絶対に水に濡らしたり、湿った手で触ったりしないでください。
- バッテリーや充電器は絶対に分解したり改造したりしないでください。

分解・改造した場合、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

注意

- バッテリーを充電する際は、付属の ENNE T250 専用充電器以外は使用しないでください。
- 充電器は充電中に高温になることがありますので、触れないようにしてください。また、バッテリーを充電する場所は高温や燃えやすい物の近くでは避け、温度の高い場所や変色・変形の可能性がある物の近くに充電器を置かないでください。
- 車両電源オンの状態で充電しないでください。

✂ 操作方法

1. バッテリーを車両本体から取り出します。
2. 充電器のプラグを家庭用電源の AC コンセントに挿します。
3. バッテリーに充電器を接続し、充電を開始します。
充電時 LED ランプが正常に点灯できているかを
確認してください。
4. 充電器をバッテリーから取り出します。
5. バッテリーを車両に装着します。



●バッテリーの充電（本体に装着したまま充電の場合）

バッテリーは、車両に装着したままでも充電できます。

⚠ 警告

- ENNET250 専用のバッテリー以外には使用しないでください。
- 充電器は充電が完了したら自動的に停止しますが、安全のために充電終了後には AC コンセントからケーブルを抜いてください。
- 充電をする際は必ず目の届くところで行い、常に監視をしてください。
- 充電器から異臭や発煙がした場合、即座にコンセントから抜き、使用しないでください。
- バッテリーは絶対に水に濡らしたり、湿った手で触ったりしないでください。
- バッテリーは絶対に分解したり改造したりしないでください。

⚠ 注意

- 充電器は充電中に高温になることがありますので、触れないようにしてください。また、バッテリーを充電する場所は高温や燃えやすい物の近くでは避け、温度の高い場所や変色・変形の可能性がある物の近くに充電器を置かないでください。
- 車両電源オンの状態で充電しないでください。

✂ 操作方法

1. 充電器のプラグを家庭用電源の AC コンセントに挿します。
2. 本体に充電コネクターの防水キャップを外します。



3. 車両の充電コネクターに充電器を接続し、充電を開始します。充電時 LED ランプが正常に点灯できているかを確認してください。
4. 充電器を車両から取り外し、防水キャップを取り付けます。



✂ 操作方法

充電器

● 充電器の取り扱いについて

充電器の取扱いは、火災や感電を防ぐため下記のことにご注意ください。

⚠ 警告

- ENNET250 専用の充電器以外には使用しないでください。
- 充電器は充電が完了したら自動的に停止しますが、安全のために充電終了後には AC コンセントからケーブルを抜いてください。
- 充電をする際は必ず目の届くところで行い、常に監視をしてください。
- 充電器から異臭や発煙がした場合、即座にコンセントから抜き、使用しないでください。
- 充電器は絶対に水に濡らしたり、湿った手で触ったりしないでください。

分解・改造した場合、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

- 充電器は充電中に高温になることがありますので、触れないようにしてください。また、バッテリーを充電する場所は高温や燃えやすい物の近くでは避け、温度の高い場所や変色・変形の可能性がある物の近くに充電器を置かないでください。
- 車両電源オンの状態で充電しないでください。
- まず充電器をバッテリーに接続し、最後に充電器をコンセントに差し込んでください。

バッテリーの充電状況は、充電の LED ランプで確認いただけます。

点灯状態	色
充電中	赤色
充電完了	緑色
点灯しない	接続不良・故障



✂ 操作方法

サドル + シートポスト

●サドルの高さ調整

1. シートポストクランプを手前に引き高さを調整できます。

サドルの高さは、座った状態で両足のつま先が地面に触れるさに調整してください。
調整範囲は、数字 1～10 の範囲内で行ってください。



2. 調整後、シートポストクランプを元の位置に戻し固定します。

シートポストクランプを元の位置に戻してもサドル位置がしっかりと固定できない場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを回して調整してください。



⚠ 危険

サドルの高さをシートポストの数字 1 以下で固定すると、乗車中に破損する恐れがあります。必ず範囲内で調整してください。

✂ 操作方法

ハンドル

1. ハンドル高さの調整レバーを手前に引きます。
2. ハンドル高さをお好みの高さに調整したあと、レバーを元の位置に戻し固定します。



調整レバーを元の位置に戻しても固定出来ない場合は、レバーが開いた状態でレバー調節ツマミを回して調整してください。

ヘッドライト

ヘッドライトは、電源オンすることで、自動的に点灯します。



警音器

警音器は、ヘッドライト一体型となっております。
ボタンを押すと音が鳴ります。



警音器ボタン



✂ 操作方法

ウィンカー（方向指示器）

ウィンカー（方向指示器）は進路変更の合図に使用します。右にスライドすると右ウィンカーが点滅し、左にスライドすると左ウィンカーが点滅します。ウィンカーを消す場合は、スイッチを中央位置に戻してください。



前輪ブレーキレバー

前輪ブレーキを作動させる際には、ハンドルの右側にあるレバーを握ってください。



後輪ブレーキレバー

後輪ブレーキを作動させる際には、ハンドルの左側にあるレバーを握ってください。



⚠ 警告

走行中、いきなり前輪ブレーキだけをかけると転倒の恐れがありますので、ブレーキをかける時はできれば前輪と後輪を同時に握ってください。

✂ 操作方法



アクセル

アクセルはハンドル右側のコントロールパネルの下側にあります。
親指で軽く下向きに押すとモーターが回転します。強く押すと加速いたします。



スタンド

スタンドは、駐車する際に使用します。走行する際にはスタンドを上げてください。

●走行時



●駐車時



⚠ 注意

走行時は、必ずスタンドを上げてください。走行中、路面の段差や凹凸にスタンドがぶつかる危険があります。転倒や事故の原因になりますので、走行前に必ずスタンドをしっかりと上げてください。

ペダル

ENNE T250 のペダルは後輪と連動していません。
ペダルはチェーンで発電機と繋がります、ペダルを漕ぐと発電機が回転し発電します。



✂ 運転前点検

安全に使用していただくために、運転前には必ず点検を実施してから走行してください。

電源 OFF 状態

No.	点検箇所	点検内容
1	ハンドル	緩みがなく中央に固定されているか？ 高さは合っていますか？ レバーがしっかりとロックされているか？
2	シート + シートポストクラ ンプ	高さは合っていますか？ レバーはしっかりとロックされているか？ 調整範囲内で固定されていますか？ 下がらないか？
3	フレーム	フレームロックが？ 確実にかかっていますか？
4	ハンドル折畳レバー	レバーが確実に固定されていますか？
5	前輪ブレーキ + 後輪ブレーキ	ブレーキは正常に機能していますか？ ブレーキパッドが十分に残っているか？
6	タイヤ (前輪 / 後輪)	タイヤの溝が適切な深さを保っていますか？ タイヤに傷や損傷はありませんか？ 空気圧は適切に保たれていますか？
7	ペダル	振動や不安定感は感じませんか？ しっかりと取り付けられているか？
8	チェーン	たるんでいないか？錆びていないか？
9	左右ブレーキレバー	両ブレーキレバーを握り、車を前後に動かし、タイヤが回らないか？
10	各部ネジ・ナット	ネジやナットが緩んでいるかを確認し、緩んでいる場合はしっかりと締めてください。

✂ 運転前点検

電源 ON 状態

No.	点検箇所	点検内容
1	コントロールパネル	液晶画面のバックライトが点灯し、ディスプレイが表示されているか？
2	バッテリー残量	バッテリー残量は残っていますか？
3	走行モード切替ボタン	+/- ボタンを押して走行モードが切り替わっているか？
4	ヘッドライト	点灯しているか？
5	左ウィンカー	ウィンカースイッチを左に操作して、左前方のウィンカーランプが点滅しているか？
6	右ウィンカー	ウィンカースイッチを右に操作して、右前方のウィンカーランプが点滅しているか？
7	最高速度表示灯	20km/h 時は点灯しているか？ 6km/h 時は点滅しているか？
8	テールランプ	テールランプが点灯しているか？
9	ブレーキランプ	ブレーキをかけるとテールランプが明るく点灯するか？
10	警音器	警音器ボタンを押して、反応するか？
11	モーター	異音がしないか？ アクセルおすとスムーズに回転するか？

✂ 運転前点検

乗車

⚠ 注意

乗車する前には必ず運転前点検を行ってください。走行しない時は、運転席に座っていない場合でも必ずパワーを切ってください。意図しない発進を防ぐため、運転席から降りる時や押して歩く場合なども、必ずパワーを切ってください。

1. スタンドを上げます。



2 ブレーキレバーをしっかりと握りながら、乗車してください。

⚠ 危険

乗車時、アクセルを絶対触らないでください。車両が急発進し、非常に危険です。

自転車 運転

走行

初めて運転する方は慣らし運転をしてください。遅いスピードで慣れてから徐々にスピードをあげてください。思い切りアクセルを強く押すなどの急発進はしないでください。

⚠ 危険

停車中は常にブレーキレバーを握ってください。ペダルが回転した場合、車体が意図せず前進することがあり、非常に危険です。転倒の恐れもありますので、ご注意ください。

⚠ 注意

片足をペダルに置き、もう片方の足で地面を蹴って助走をつけ、その勢いで一気にまたがってシートに座る「ケンケン乗り」と呼ばれる行為は、非常に危険です。絶対に行わないでください。

1. コントロールパネルの M ボタンを長押しで電源 ON します。
2. +/- で走行モードを選択します。



3. 車体に精密なセンサーがついておりますので、ペダルを漕ぐかアクセルを押すかで、前進します。

ペダルは発電用のため、漕いでも後輪と連動しませんので、発電した電力は車体コントローラーを通して、後輪モーターに流れ回転する仕組みです。アシスト自転車に近い感覚で使用できます。

性能的にはバッテリーを取り外した状態でもペダルを漕いでいる限りは保安部品も作動し、モーター駆動で走行することが可能です。安全面を考慮し、公道ではバッテリーを抜いた状態もしくは充電切れの状態での走行はご遠慮ください。



🚲 運転

特定小型原動機付自転車は、制限速度が時速 20km 未満であることが定められています。ENNE T250 は制限速度を超えないように制御されています。ペダリングまたはアクセル操作によって、自転車は制限速度に達するまで加速します。制限速度に到達する前に、システムコントローラーがモーターへの電力供給を停止させ、自動的に加速が停止します。

*公道を走行する際には、特定小型原動機付自転車の交通ルールを守り、安全に運転するようにしてください。

また、最高速度表示灯を点滅、最高速度 6km/h 以下の基準を満たすと特例特定小型原動機付自転車となり、歩道を通行することができます。

*通行することができる歩道は、全ての歩道ではなく、「普通自転車等及び歩行者等専用」の道路標識等が設置されている歩道に限られます。

● ECO モード (6km/h)



点滅

● HIGH モード (20km/h)



点灯

⚠️ 注意

HIGH モードではモーターの出力が大きく、走り始めに力強く発進しますので、急発進にならないように注意して、ゆっくりと操作してください。

🚲 運転

●ブレーキ

ブレーキは、アクセルを戻した状態で前輪（右側ブレーキレバー）と後輪（左側ブレーキレバー）を同時に使ってください。

⚠ 危険

停車中は常にブレーキレバーを握ってください。ペダルが回転した場合、車体が意図せず前進することがあり、非常に危険です。転倒の恐れもありますので、ご注意ください。

⚠ 警告

- ・ ブレーキレバーを握る際には、アクセルから手を離してください。
- ・ ブレーキパッドは消耗品です、ブレーキの性能が低下した場合は新しいものに交換してください。
- ・ 急なブレーキ操作は、タイヤをロックさせ、転倒の危険性があるので、くれぐれも注意してください。

⚠ 注意

- ・ ブレーキをかけたまま長時間走行しないでください。ブレーキの温度が上昇し、制動力が低下し、効きが悪くなる危険性があります。
- ・ 走行中に急ブレーキで急停止した場合、バッテリー保護のためにモーターが一時停止することあります。十分にご留意ください。

🚲 運転

駐輪

地面が平らな場所で、スタンドを使って自転車を立て、しっかりと駐輪してください。同時に、盗難を防ぐためにチェーンロックなどでロックしてください。

⚠️ 注意

ENNET250 は特定小型原動機付自転車です。駐車する際は、駐車違反にならないよう、駐輪可能なところへ駐輪してください。また、自転車専用駐輪場には駐輪できませんのでご注意ください。



車両の折り畳み・組み立て

車両の折り畳みについて

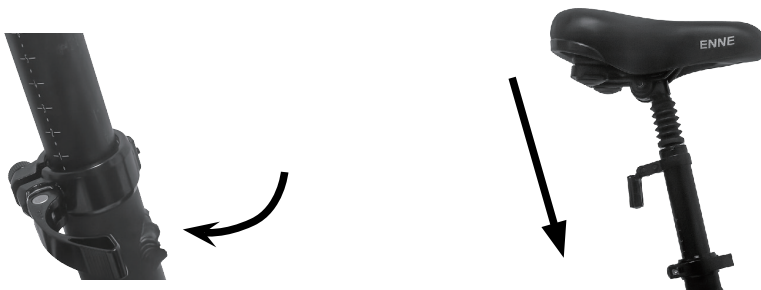
注意

折り畳み時は、手や指を挟まないように十分に気をつけてください。
バッテリーを取り付けたまま折り畳む際には、バッテリーが落下する危険を防ぐため、必ずバッテリーキーを使用してバッテリーをロックしてください。

1. 電源を OFF します。



2. シートポストクランプを手前に引いて、サドルを一番下まで下げてください。



3. ハンドルの高さ調整レバーを手前に引き、ハンドルを一番下まで下げてください。
4. ハンドル折畳レバーを手前に引に引き、ハンドルが車両の右側に折り畳まれます。

車両の折り畳み・組み立て

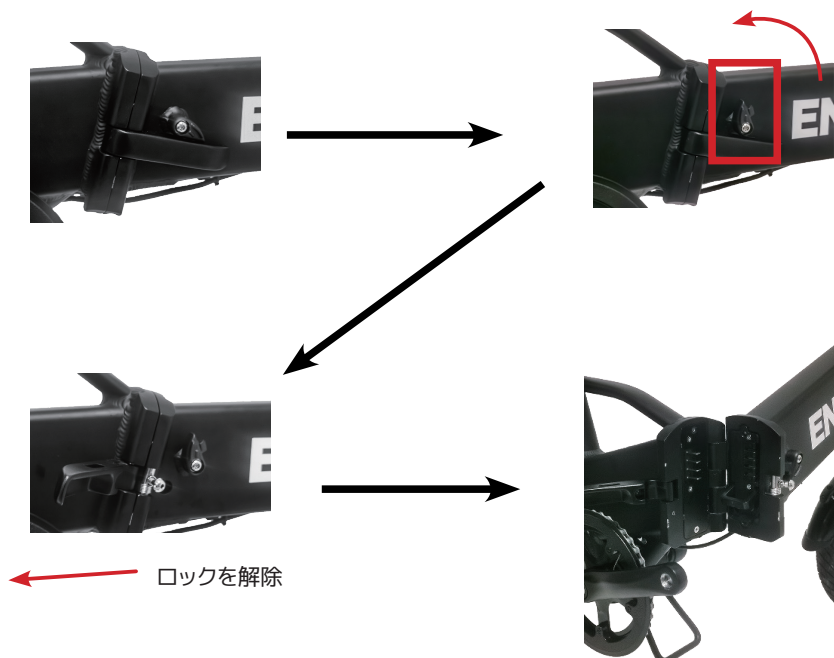
5. ペダルを奥に押しながら折り畳みます。



6. スタンドを上げます。



7. フレームロックを回し、フレームロックレバーを手前に引き、フレームを折り曲げます。



車両の折り畳み・組み立て

8. 折り畳み状態は下記の通りです。



車両の折り畳み・組み立て

車両の組み立て

注意

組み立て時は、手や指を挟まないように十分に気をつけてください。

1. フレームを真っ直ぐに伸ばし、フレームロックレバーでフレームを固定します。
2. フレームロックを回してロックします。
3. スタンドを下げて車体を自立させます。
4. ハンドル折畳レバーを手前に引き、ハンドルを立てます。その後ハンドル折畳レバーを元の位置に戻します。
5. ハンドルとサドルの高さを調整して、ロックします。
6. 両側のペダルを元の位置に戻します。
7. 電源を ON にして、保安部品等のライト類の点灯を確認します。



注意

組み立て後は、各部確実にロックされていることを確認してください。
走行中に緩んでしまうと、転倒の危険性が高まり、非常に危険です。十分な注意してください。

点検・整備

車両の安全な使用を保つためには、点検と整備が必要です。日常点検や運転前点検をお忘れなく行ってください。これにより、車両の安定性や性能が保たれ、安心してご利用いただけます。安全を確保するために、点検と整備を必ず行ってください。

警告

長年の使用により、車両の部品は劣化し、ネジが緩むことがあります。これらの問題を放置すると、非常に危険です。安全にご利用いただくためには、乗車前に必ず車両の点検を行ってください。

定期的な点検を行うことで、車両はより安全に保たれ、長期間にわたってご利用いただけるようになります。点検によって早期に問題を発見し、修理や調整を行うことで、車両の性能と耐久性が向上し、安心してご利用いただけます。定期点検は弊社または販売代理店にご依頼ください。

点検内容について

①ハンドル

前輪を足で抑えながら、ハンドルに力を入れて動かしてみてください。この際、ハンドルが自由に回ったり、緩んだりしないことを確認してください。

②高さ調整レバー・折畳レバー

確実に固定されているかを確認してください。

③アクセルスイッチ

車両の電源を切った状態でアクセルを下まで押した後、自然に元の高さまで戻るかを確認してみてください。

④ブレーキパッド

減っているかを確認してください。

注意

ブレーキパッドは使い続けることで摩耗します。もしブレーキの効きが弱まったりした場合は、新しいブレーキパッドに交換する必要があります。

⑤サドル高さ

サドルの高さが、シートポストの指示（最大値と最小値）の範囲内に収まっているか、確認してください。サドルに上下左右から力を加えて、回したり、緩んだりすることがないか確認してください。

点検・整備

⑥ペダル

ペダルに、上下左右から力を加えても、しっかりと固定されていて揺れたりガタついたりしないか確認してください。

⑦フレーム

折りたたみ時に使用するフレームロックレバーが正しくロックされているか確認してください。

⑧バッテリー

バッテリーは、時間の経過とともに自然に放電します。車両を2週間以上使用しない場合は、バッテリーを車両から取り外し、直射日光を避け、冷暗所で保存してください。

警告

バッテリーの外装に破損や凹みが見受けられた場合は、そのバッテリーを使用しないでください。安全のために新しいバッテリーに交換してください。

注意

バッテリーは、車体に取り付けたまま長期間放置すると、電圧が下がり、充電できなくなる可能性があります。また、バッテリーは、車体から取り外していても自然に放電します。したがって、車体から取り外して保管する場合でも、最低1ヶ月に1度は充電を行うことをお勧めします。これにより、バッテリーの寿命を延ばし、いつでも安定した性能を持続させることができます。

⑨タイヤ

タイヤの空気圧が低下した場合は、定期的に空気を補充してください。

もしタイヤがパンクした場合、速やかに修理店に点検や修理、交換などの対処を依頼してください。

※修理店で問題が解決できない場合は、お手数ですが弊社にご連絡ください。

注意

- 適切な空気圧でないタイヤや、極端に摩耗したタイヤを使用すると、転倒や事故、トラブルが引き起こされ、重大な事故につながる可能性がありますので、定期的に交換してください。
- ENNE T250の仕様に合わないタイヤを交換した場合、操縦安定性が損なわれ、転倒や事故、トラブルのリスクが高まります。安全を最優先に、適切なタイヤを交換してください。

点検・整備

洗車について

ENNE T250 は汚れに強い仕様となっていますが、雨天時や海辺など特定の環境では、泥や塩分などが付着して汚れる可能性があります。また、冬季には凍結防止剤によって錆が発生することもあります。車両を長く美しく保つためには、走行後にこれらの汚れを定期的に洗車で除去することが重要です。お手入れを怠らず、車両の美観と耐久性を保つために、定期的な洗車を心掛けてください。

注意

- 車両は防水構造になっていますが、完全防水ではありません。
- 車両に水をかける際には、多量の水を一気にかけることは避けてください。洗車後は、ウエスや乾いた布を使って水分を拭き取ってください。
- 特に洗車後にブレーキが濡れている場合、降雨時と同じくブレーキの効きが悪くなる可能性がありますので、運転する前にブレーキを十分に乾かしてからご使用ください。

警告

- 洗車する前にバッテリーを取り外し、水に触れない場所に保管してください。
- 高圧洗車機は使用しないでください。
- 充電口や保安部品等のライト類には、長時間水をかけないようにお願いいたします。
- 部品に水が浸入すると、故障の原因となりますので、くれぐれもご注意ください。

部品交換について

ヘッドライト、ウィンカー、テールランプ等の部品は ENNE T250 の専用部品のため、交換の際には、弊社または販売代理店にお知らせください。



故障かな？と思ったら

症状	対処
アクセル押しても出力が弱い	<ul style="list-style-type: none">• バッテリー残量を確認してください。バッテリー残量少ない場合、バッテリー充電してください。 ※電池残量少ない時はペダル発電だけでも走行できますが、安全のために、バッテリーを充電してから走行してください。 <ul style="list-style-type: none">• バッテリーの充電時間が増え、完全に充電しても走行距離が短縮されていないか、確認してみてください。もし充電に時間が増え、走行距離が短くなっている場合は、新しいバッテリーに交換することをお勧めします。
充電器 LED ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">• 接続不良の可能性がありますので、正しく接続されているかを再度確認してください。
充電時間が伸びた	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーが劣化していますので、公式サイトや販売店で新しいバッテリーを購入して取り替えることをおすすめします。
充電が完了しても、以前よりも走行距離が短くなった	<ul style="list-style-type: none">• バッテリーが劣化していますので、公式サイトや販売店で新しいバッテリーを購入して取り替えることをおすすめします。
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none">• 長期間（1ヶ月以上）バッテリーを使用しないと、完全に放電してしまう可能性があります。バッテリーが完全に放電された場合、そのままでは車両の走行には使用できません。 ※バッテリーを車両から取り外し、充電器に接続し、回復充電を試してください。それでも回復しない場合は、公式サイトや販売店で新しいバッテリーを購入して取り替えることをおすすめします。
パンク	修理店等でパンク修理を依頼してください。

お問い合わせ

製品について、よくある質問は以下からご確認ください。

<https://shop.ennegt.com/>

製品に関するお問い合わせは、下記窓口にお問い合わせください。

info@ennegt.com

株式会社 ENNE

カスタマーサポートメール info@ennegt.com

公式販売サイト <https://shop.ennegt.com/>